

## ■H22年度 第1回 博物館協議会 要点録■

日時：平成22年11月4日(木) 午後2時～

<出席者> 委員：中島、大橋、木村、片山、衣斐、草野、西川、中井館長  
長浜城：太田、森岡、北村、佐々木、西原、山口、富岡、福井

### <館長挨拶>

長浜城は、市民の方から大いに期待を寄せられていることを改めて感じている。

友の会を始めとする市民との協働が大切であり、来年の大河ドラマで、さらなる事業展開があることから、委員の皆様にもご協力を賜らなければならない。

館としての使命を強く感じている。委員の皆様方の後押しをお願いします。

★博物館協議会の委員は2年任期で、本年が改選時期。会長、副会長の選任を行う。

### <各委員の自己紹介>

木村委員…長浜城歴史博物館は、県下博物館の中でも大変活躍をされ、多くの方に認知されていると感じている。

中島委員…長浜城歴史博物館のオープン前からのお付き合い。

草野委員…長浜観光ボランティアガイド協会から来ている。ボランティアガイドの視点から、お話できればと考えている。

西川委員…国際交流協会から。毎年、外国人を連れて長浜城を訪れているし、自分自身がさらに学びたいという思いから、委員を引き受けた。

片山委員…新たな長浜市となり、41の小中学校がある。長浜城を子どもたちの学びの場として活用させていただきたいと考えている。

衣斐委員…商工会議所から。今後、様々なことを勉強させていただきたいと思う。

大橋委員…県立大から。平成16年からのご縁。県立大における授業の一環として使わせていただいている。

★会長…大橋委員      副会長…中井館長

会長挨拶…私自身、歴史の分野は趣味としてやっている。

今後、ますます長浜城が発展していくよう、皆様のご協力をお願いします。

## <議題>

### 1)特別展等の展示見学・説明について

○2階展示室「湖北の水の物語」 西原、福井から解説

○3階展示室「浅井三代と小谷城」 森岡から解説

## <講評>

中島委員…浅井氏、浅井三姉妹に関する展示は前評判が良い。

来年もかなり多くのお客さんが期待できる。

木村委員…来年の浅井氏への期待が大いに感じられる。

草野委員…情報にも考慮しながら、タイミングよく展示されている。

お客様にもとても喜んでいただいている。

片山委員…ぜひ子ども達を連れて行きたい。地元の歴史に愛着を感じてもらいたい。

草野委員…地元の小中学生からのガイド要請が少ないように感じる。

やはり、地域の者が地域の歴史を学ぶことはとても大切なことだと思う。

衣斐委員…長浜城は、歴史好きの人にとって、たまらなく魅力的な物が多い。

来年のお客様への対応も考えていかねばならない。

大橋会長…エレベーターの間口が狭いなどの問題点があると思うが、来年は、多くのお客様が見込まれるので、何らかの対策を考えていくことが必要。

衣斐委員…駐車場のアピールもしてもらった方がよい。

他府県から来られた人にとっては少々分かりにくいかもしれない。

草野委員…展望台からのご案内は、お客様にも大変喜ばれる。5階までエレベーターで行かないことが大変残念に思う。歴史の好きな人は展示室で満足されているが、そういったお客様だけではない。秀吉になった気分、展望台の景色を楽しむ方もおられる。

中島委員…来年の大河ドラマのこともあるので、もう少し「浅井三姉妹」を主力に展示をするとお客様に喜ばれるのではないかと。

お客様に喜ばれるようなテーマを盛り込むことも大切。

### 2)平成22年度上半期事業について

○館の事業について、資料に基づき、西原から説明

木村委員…少ない人員の中で、多くの事業をこなしておられるな、という印象を受ける。

こういった事業案は、どのように計画しておられるのか。

太田…大がかりな展示に関しては2～3年前から計画している。1年を通した全体像は、前年の秋頃に立案。「江展」は去年6月頃、「真宗展」はその前から。

木村委員…実際問題として休む暇があるのかなという印象を受けるので、職員の健康管理についても充分留意願いたい。

長浜城歴史博物館の竣工以来、施設修理をこまめに行われてきたが、いずれ大々的な修理をする時期も来るだろう。こういった施設は、多くの人々が来られ、その場に応じた説明を聞くことで、歴史が立体的なものとして伝わってくる。残念なことに、施設のキャパシティ的な問題で負の印象を与えてしまうこともあるので、受け入れ体制については、十分に整えた方がよい。

中井館長…私自身、チケット売り場について気になっている面もあるので、そういったことも含め、お客様に不便な思いをさせないように、しっかりと対処していきたい。

西川委員…外国人の入場者はあるのか？ また、通訳によるガイドはあるのか？

北村…現在は、受付に外国語資料(英語、ドイツ語、中国語、韓国語、インドネシア語)を用意して対応。通訳によるガイドは、今後の課題である。

片山委員…来年は、大河ドラマ関連事業で非常に多忙になることが想像されるが、学校における授業への出張講座や職場体験の依頼を控えた方がいいのではないかと。

太田…教育委員会に所属している以上、子どもたちへの教育普及は、大切な館の役割である。また、観光客のためだけの施設ではなく、市民の皆さんにご利用いただくことも大切。ただ、余りに出前講座の依頼が多すぎるので、どのようにセーブするのかを考えていかなければならない。一部有料も視野に入れるなど。

大橋会長…受益者負担の観点からも、有料化は有意義なことだと思う。

学芸員は、事業に時間を取られ過ぎると、研究する時間の確保ができない。

そういった時間を確保して、その成果を市民に還元することも大切。

木村委員…かなりオーバーワークになっている部分があるので、出前講座の一部有料化などの検討が必要。

片山委員…学校からの出前講座の要請はどれくらいあるのか？

太田…全体数の1～2割程度である。

木村委員…次世代を背負う子どもたちへの講座は大切だと思う。

片山委員…市の公民館や図書館、博物館など、子どもたちがなかなか利用していない。

今の子どもたちが利用するのはインターネットだが、実物に触れることの素晴らしさを伝え、子どもと地域資料の橋渡しの存在になってもらいたい。

子どもたちも長浜城へは訪れているか。

山口…多くの子どもたちが気軽に来ている。

中島委員…以前に観察していたら、子どもたちが熱心にメモを取りながら展示を見学していたので、心配しなくてもよいと思う。

学芸員の増員という要望を出すことも一つの方法かもしれない。

北 村…長浜の子どもたちのためになることは、惜しまずに協力していきたい。

大橋会長…博物館実習生の受け入れについて、少し人数が多すぎないかを感じる。

木村委員…確かに学生にとって他の施設で学ぶということは大切な経験であり、大きな財産となる。

太 田…長浜城の場合、古文書調査などの調査にも協力してもらっている部分もある。

草野委員…浅井歴史民俗資料館について、来年は博覧会があるので、さらにお客様が増えると思う。現在の受け入れ体制では、スムーズに行かないように感じるが、その対策は？

太 田…おもてなし人4人を配置し、館の入口外側にチケットブースを設ける予定である。

#### ○友の会事業について、資料に基づき、福井から説明

大橋委員…友の会活動へのかかわりは？

太 田…全て友の会にお任せするという訳には、なかなかいかない。

普及事業に対して市の予算がつかないので、友の会の名のもとに開催している。

草野委員…友の会事業について、館の皆さんには本当にお世話になっている。

中島委員…臨地見学会などは、ツーリスト的な役割までしていただいているのではないか。

大橋会長…何とか学芸員の負担を減らせないかと思う。

中井館長…館と友の会は、両輪的な部分がある。出前講座については、安易に講座要請をしている面も否定できないので、市とも協議をし、負担軽減を考えていかなければならない。

大橋会長…友の会事業の予算については、どのようになっているのか。

太 田…基本的には会員会費とミュージアムショップの収益で運営している。

#### 3) 今後の博物館活動への意見・提言・その他

大橋会長…市からの予算は十分に確保できているのか。

太 田…おかげさまで長浜城は、比較的予算をつけていただいていると思う。

大橋会長…これもちまして、終了します。慎重審議、ありがとうございました。

#### 4) 新規購入資料の内覧

春日局像、本朝百将伝図、東福門院書状を見ていただく。